

KTK
NO.106

あらくさ通信

編集 あらくさ後援会

編集協力 社会福祉法人あらくさ福祉会

〒617-0813 京都府長岡京市井ノ内広海道42-3

TEL 075-953-9212 FAX 075-953-9215

後援会費郵便振替口座

01070-7-32145

あらくさ後援会

ハウス新登場



大原野のハウスでは新登場の「インパチェンス」の育成をしました。各グループで協力して作業をしています。

お届け先からも評判よく、

「きれいに咲いていますね」

「早速花壇に植えます」

と嬉しいお言葉をいただきました。

【インパチェンス】白、赤、ピンクのきれいな花が咲きます。草丈20～60cm。鮮やかで次々に開花し、豊富な花数から、花言葉は「豊かさ」「鮮やかな人」です。



今年度より、大阪保育福祉専門学校（島本町）の清掃活動を始めることになりました。この清掃活動は、主に学校の敷地内（建物外）の落ち葉掃きを行うものです。外部での清掃活動を、あらぐさ全体で取り組むのは初めてのため、利用者さんと一緒にどのように活動ができるのか、職員で何度も話し合いを重ねました。その結果、4月は試行期間とし、5月から本格的に実施することになりました。

早速、4月2日より清掃活動に出かけています。大阪保育福祉専門学校の立地は、とても傾斜がきつい場所にあり、また慣れない竹箒での活動ということで、どのように活動ができるのか職員も不安でした。しかし、いざ始めてみると職員が驚くことばかりでした。目を輝かせて次から次に落ち葉を拾われる方、竹箒を上手に使い、塵取りに集められる方、高台から景色を眺めながらにこやかに作業をされる方など、皆さんとても楽しそうに作業をされ、職員の不安はあっという間に吹き飛びました。まだまだ慣れないことも多いですが、これからも利用者さんと楽しみながら活動を行っていきたいと思います。



新型コロナウイルス対策の日々の中で

社会福祉法人あらくさ福祉会 理事長 角 攝 子

平素より、あらくさ福祉会並びにあらくさ後援会に多大なご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。また、長きにわたり「あらくさ通信」をお読みいただいている皆様に、心より感謝申し上げます。

4月以降、あらくさでは定刻になると「換気の時間です。窓を開けてください。周辺の消毒もお願いします。」と館内に放送がかかります。マスクをかけた職員の顔は、利用者さんにとっては表情が見えにくいかもしれません。玄関では来客の方すべてに検温とマスク着用のご協力をいただいています。

「街へ街へ」と出かけていた買い物活動は自粛し、「自然の中へ」。地域やイベントでのクッキー販売は激減し、手作りパンや乙訓名物ゆでタケノコの社内販売に姿を変えました。事務室には手製シールドが張られました。不自由な中でも持ち前の工夫でこれまで

とは少し違う活動も取り入れ、出来る限りの防止対策をしながら過ごす日々でした。

そんな中、地域のお店の方、会社、団体、個人の方々からマスクやアルコール消毒液のご寄付や励ましの言葉をたくさんいただきました。心強い、ありがたい贈り物でした。ありがとうございました。

21日、京都も緊急事態宣言が解除されましたが、安全宣言ではありません。この間、福祉施設の感染防止対策や感染した場合の対応について、多くの問題点が浮き彫りになりました。そうした実態や実情を掬い取り、科学に基づくより良い施策を望みます。当法人でも今後も対策を講じつつ、2020年度の活動を進めていこうと思います。これからも、ご支援の程よろしく願いいたします。

(2020年5月22日)



この清掃活動は、利用者さんの得意なことを活かし、あらくさ全体で協力し合いながら取り組む予定です。この清掃活動を通じて、地域の方との関わりを深めていきたいと思っています。また、利用者さんの活動に取り組む姿を見てもらうことで、障害者理解もすすめていきたいと思っています。



製品紹介

ワークセンター 「さをりショール」

今回紹介するのは、利用者さんがひとつひとつ手織りで作り上げている「さをりショール」です。

利用者さん自身が様々な素材や色の糸から、自由に選択し、模様や柄についても自分で考え、織り進めておられます。そうして織りあがった布は、それぞれの個性で溢れています。さをりショールは、職員が手を加える事はほとんどなく、利用者さんの個性が一番活かされている製品です。

数々の作品展に出展する中で、多くの方が手にとって見ていただいています。また、「こんな配色、私たちには思いつかないわ〜」「ダイナミックな模様が素敵やね!」等の声もいただいています。織りあがると「できたよ!」と職員や他の利用者さんに見せて回ったり、鏡の前で「かっこい〜!」と首に巻いてみたり、織り上げている利用者さんにとっても、自慢の布に仕上がっています。



素材や色・柄、季節に応じた物が種類豊富に揃っていますが全て一点ものです!! 世界に一つだけの、誰とも被ることのないショール。必ず自分に合うショールに出会えると思います。ぜひ、ワークセンターさをり工房を覗いていただければと思います。

※販売価格はショールの素材・長さ・幅によって異なります。(一枚3500円〜)

あらくさ福祉会のホームページ

インターネットであらくさ福祉会のホームページをご覧になったことありますか。たくさんのことを情報発信しています。ホームページの一部を紹介します。



あらくさ福祉会 長岡京市 検索

インターネットで検索してみましょう。
あらくさ30周年記念の集合写真が出迎えてくれます。



あらくさ紹介 あらくさギャラリー

トピックス のコーナーであらくさのことや利用者さんの生活の様子などが写真で紹介されています。日々の生き生きとしたあらくさをご覧ください。

自主製品の紹介 も盛りだくさん

今年3月予定の「創17th」の作品展は残念ながら新型コロナウイルス感染防止から中止となりました。ホームページを見ると利用者さんがつくったたくさんの自主製品がカラー写真で並んでいます。簡単な説明もされています。

クッキー・ケーキ さをり製品 ビーズ・フェルト製品 ふりかけ・乾物・ジャム 草木染め製品 はがき・便せん アクリルタワシ・コースター

前頁で紹介した「さをりショール」と別のさをり製品も色鮮やかに掲載されています。自主製品は、いずれも購入可能です。

「さをりショール」含め、購入希望の場合は事前にお電話で問い合わせして下さい。

あらくさ後援会 後援会の活動を紹介

あらくさ後援会の活動を紹介しています。今年はコロナ禍で総会が中止となっています。知りたいたいことがありましたら、ホームページでご確認下さい。

あらくさ通信 が読めます

今までに発行された「あらくさ通信」を読むことができます。「地域で暮らす」などの記事をもう一度読んでみたい、あるいは気になることがありましたら、是非ご利用下さい。

お問い合わせ

自主製品に関するお問い合わせは、**お電話**にてお受けしております。

障害福祉センター あらくさ

電話番号
075-953-9212

受付時間

月曜日～金曜日 9:00～16:00

毎回、あらぐさの利用者さんの生活を紹介してきた『地域で暮らす』は、コロナウイルス感染拡大防止のため取材を控え、お休みします。これまでの取材から担当者の声を掲載します。

シリーズ「地域で暮らす」 これまでの取材活動から

取材へのご協力ありがとうございます

シリーズ「地域で暮らす」は32人の方に聞きとりをすることができました。

これも、ひとえに取材に応じてくださったお母さんのおかげです。本来は本人に聞くべきであるとは思いますが、そのことについてはお許し下さい。

「地域で暮らし続けたい」

あらぐさがケアホームを作るきっかけはたくさんあったと思います。そのうちの一つは、親たちの座談会の形式でこの通信で気持ちを表明した事と思います。「子供の将来を考えると入所施設だが、このまま地域で暮らし続けたい」「ケアホームを作ってほしい」努力がみのり、ケアホームができました。人数に制限があるために入れた人、入れなかった人と分かれました。



お話を聞かせてほしい

ケアホームに入れた人はその生活に慣れて、より生活を向上してもらいたい。入れなかった人は短期入所等の制度を使い家族の負担を軽くして生活を向上してもらいたい、と全員のお話を聞かせてもらう企画を始めました。

親同士はなんとなく知っているものの、子供の小さい頃の話はあまり知らないし改めて聞くような機会もない。この記事を通じて〇〇さんの事とわかる人には知ってほしい。障がいを持つ子供の親同士、

共通する事、共感する事があると思います、指導員の人に小さい頃を知ってもらえると成長がわかりやすいと思います。いろいろなきっかけであらぐさ後援会に入られた方には通所者が一人一人どんな人生を経てあらぐさにくる事になったか伝われば嬉しいです。



今回はコロナ禍のため休載

毎回恥ずかしがりのお母さんに無理を言って根ほり葉ほり3人でお話を聞いていました。でも今は外出してもらおうのも、距離の近いところでお話を聞くのも難しい状況です。今回のインタビューは残念ながら中止させていただきましました。この状況が好転したらまたお話を聞かせてください。よろしくお願ひします。

コロナウイルス感染拡大への心配

新型コロナウイルスにより世界中の人の生活が制約されています。あらぐさ等の福祉事業所が工夫して事業を続けておられるのが、家族としては嬉しくて本当に感謝しています。

しかし、もし子供が感染して入院することになれば、付き添いはどうなるのだろうか？治療を受け入れられるのだろうか？毎日テレビで見る医療従事者に感謝しつつ、医療を受けるのが苦手な人はどうなるのか？と心配している毎日です。

(担当 前田幸子 真殿尊子 森垣美知子)

障害福祉センターあらぐさ 職員

芦田 空 さん

(あしだ そら)



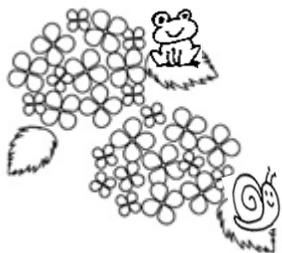
はじめまして、今年の4月からあらぐさに入職しました。芦田 空 (あしだ そら) です。

デイセンター1のCグループに所属しています。



私は、今年の3月までは学生でした。大学では、中学生の頃から学びたいと思っていた、臨床心理学が学べる大学に通っていました。大学では、主にアダルト・チルドレン (機能不全家族で育った人もしくはアルコール依存症の親を持って育った人や共依存などについて学んでいました。

なぜ、私が心理学とは全く異なる障害者福祉に就職しようと思ったかということ、私自身、軽度の知的障害を持った家族が居ます。この10年間、障害について悩む本人の姿や、親としてどうしたら息子にとって良いのかと悩む母の姿を目にしてきました。



また、母と同じように悩んでいるお母さん達の話聞いていくうちに障害者福祉に興味を持つようになり、大学入学当初から就職するなら障害者福祉の道へ進みたいと考えていました。



あらぐさとは、きょうと福祉就活サポートプログラムからの紹介で出会いました。実際に施設見学に訪れ、利用者さんや職員の皆さんが笑顔で楽しそうに活動をされている様子を見て、ここで働きたいと思い、就職を決めました。

入職してまだ、日も浅いですが、利用者さんや先輩職員に教わりながら、1つでも多くの事を身につけて学んでいきたいと思いますので、宜しくお願いします。



あらぐさ後援会 加入・募金 ありがとうございました

(2019年11月21日～2020年3月31日 敬称略 順不同)

天野正弘 天野きみ 粟野亜希子 飯山秀子
石井憲生 伊藤弘紀 井上世津子 井上はる奈
浦さち子 大江恵子 大江貴光 大江延佳 大釜
和子 大木雄大 大橋生人 大橋雅人 岡崎伸宏
小野田照代 かじゅ美 加藤陽子 亀川義昭
北達美由紀 木村篤哉 木村栄美子 木村忠
草野廣 黒木サキ子 後藤真由美 佐名木良実
篠原茂 篠原秀子 新免富美子 関節子 高谷
莉央 滝川正幸 多田美智恵 田中真理 田中
洋子 谷早苗 谷口奈緒子 寺岡敬博 土井医院
土井正樹 中川慶子 中田あづさ 中村時雄

夏原典子 西城信幸 西山俊太郎 仁村佳與子
(株)ハウジングステーション代表取締役山下吉昭
畑健二 濱川君代 林節雄 原田文孝 ばんだ
企画 久江公子 平野路予 福井太郎 ベーカリ
ーセルフイーユ 別府哲 増田尚 松井幸子
松永里子 松村誠 三谷文菜 三田村啓子 南
ゆかり 宮本靖子 村瀬真里奈 森清 森下純平
山川洋子 山中啓三 山中章二 山本利江 吉永
安昌 吉永和子 吉永昌史 吉永雄司 吉永静香
吉永雄司 米村久美 和田久子
匿名希望19名

後援会費納入とあらぐさ支援募金のおねがい



2020年度、後援会の更新の時期となりました。
会費納入と支援募金をよろしくお願ひします。

あらぐさ支援募金は、あらぐさ福祉会がすすめる
「暮らしの場」づくりの施設整備を恒常的に支援す
ることを目的にしています。

あらぐさ後援会

個人 1口 1,000円

団体 1口 2,000円

あらぐさ支援募金

1口 1,000円

- ・同封の振込用紙をご利用ください。
- ・入金と行き違いになりました際はご容赦ください。
- ・後援会費、支援募金には「KTK あらぐさ通信」紙代が含まれています。

あらぐさ後援会総会中止

2020年度あらぐさ後援会総会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

1992年6月5日 第3種郵便物承認 (毎月1回25日発行) 2020年6月23日発行
KTK増刊通巻第5016号 発行所 京都障害者団体定期刊行物協会
〒602-8143 京都市上京区堀川通丸太町下ル中之町519 京都社会福祉会館4階
京都障病車内 発行人 高谷修 頒価50円 (購読料は会費に含まれています)

KTK

あらぐさ通信